

出会い



第六十四号平成二十九年九月

健康道場サラ・シャンティ
神戸市灘区八幡町
3-6-19 クリアール六甲 2F
T/F: 078-802-5120

天国システムと縄文魂

清水正博

前回の「出会い」で「天国システムが始まった」と題して書きましたが、後で読みなおして何を書いているのか分かりにくいので反省しました。タイトルの「天国システム」のことが何の事か分からない文章で、原因は最近起こったいろんな事を整理できずにあれもこれもと欲張って書いてしまったからです。いつも締め切りが迫ってから書きはじめるので、落ち着いて読みなおしてもできてなかったのです。

サラ・シャンティは昨年から矢作直樹先生や保江邦夫先生に来て頂けるようになり、ちよつと僕の考えも変わってきています。サラ・シャンティは最初の10年は、原発問題、沖縄基地闘争、911自作自演、医療システムなどの社会的な問題を扱う事が多かったのですが、その後にかたカムナの講座を始めてから、さらに311以降の伊勢と出雲の同時遷宮から古神道や言霊に関心が向かい、歴史的な講座が増えています。ちよつと保守的な傾向が強まったと思われていますが、僕の根本的な意識は変わっていません。

自分の国を愛する心と、原発、沖縄基地、戦争を推進する心は相反すると思います。僕の社会に対する考えは魂と美意識から発する本物の保守だと思っていますから、矢作先生や保江先生と考えが一致して当たり前な訳です。そんな風に311以降は特に世間の風潮が変わりましたが、昨年は戦後70年の封じ込めに対する反動から意識の変化が起こり、サラ・シャンティの時代がやってきた気がします。それで今年2月から始まった「保江邦夫のお笑い真理塾」の第2回講座で「天国システムの到来」のお話しをされ、ぜひ紹介せねばと焦って書いたら、大変分り辛い文章になったのです。

保江先生がなぜ「天国システム」と云ったお話をされるのかを理解していただくには、保江先生の2月からの講座のDVDをご覧いただければと思いますが、これまで私は時代意識の変化について何度も書いて来たので、そのことを保江先生が「天国システム」と表現されたので、それは面白いとついつい書いてしまったわけです。

京大時代に湯川秀樹先生の最後の弟子として『素領域理論』を継承された量子力学の高名な大学教授の保江先生がどうして「天国システム」のようなお話をされるのか？ いったい何が飛び出すか分からない、そこが人前で3月の講座では、本月3日には大次元転移が起こり、意識改革で天国システムの時代が到来する」と言ったお話になりました。といっても「地獄システム」がなくなる訳ではなく、二つの世界が明確に別れる時代になるので、天国システムでの生き方

を説明されたのです。

保江先生は今年の3月で岡山のノートルダム清心女子大学を定年退官されましたが、30年以上も女子大で教えて来られた事が、分りやすく面白いお話しで学生を飽きさせない話術を鍛えたのでしょうか。合気道をされて気の世界を知り、UFOから天文学に興味を持たれ、ガンやルルドの水で完治されるなど、不思議な体験を数多くされています。

先生はある預言者より、先生は今上天皇が譲位され、皇太子さまが皇位継承に伴い天皇陛下になられる移行期間は、人柱になって皇室をお守りするお役目がありますので、4月3日から東京の白金に引っ越されるでしょう」と予言されたそうです。そんな事はありえないと思っていたら、本当に2月になったら予言通りに港区白金のマンションに破格の値段で住めるように話が展開したそうです。といった調子のお話を面白可笑しくされるのです。先生に皇室をお守りするようなお役目があることは、ご先祖様の影響なのかもしれませんが、不思議な事が次々起こって面白い人生を生きておられます。

子供の頃のUFO体験から天文学に興味を持ち東北大学に入学、その後京大、名古屋大学、スイス大学へと幸運続きで移って行かれ、キリスト教にまつわるスピリチュアルで不思議な体験を数々されます。専門の量子力学ではドイツのアウトバーンで200キロの高速運転中に量子力学の方程式が頭に降りて来て、それを学会に

提出し、シュレディンガー方程式に匹敵する保江方程式として認められます。

大東流合気柔術の佐川先生に弟子入りするためにスイスの大学を辞めて帰国する。ローマ法王の推薦で渡邊和子先生と出会いノートルダム清心女子大に迎えられる。末期の大腸癌になつて大手術後にルルドの水に救われる。マザーテレサの愛による冠光寺流合気柔術を編み出す。伯家神道の祝之神事を授かり、ギザの大ピラミッドでハトホルの秘儀も授かる。といった不思議体験をたくさんされ、それらを紹介した本を何冊も出版されました。

その後、先生は日本神界の世界に導かれ明治天皇まで伝承された祝之神事を継承し、参議院選挙で日本の心を大切にす党から立候補したりとファンを驚かせる行動をされるようになります。こうして最近の保江先生になぜかご縁ができて、サラ・シャンティで講座をとお願いしたら、なんと9回連続講座が実現したので。ところが満員御礼で参加できない人が沢山いますとお伝えしたら、では番外編をと「愛」命「今」私「の全4回の講座を追加して下さいました。勿論すぐにごちらも満員御礼になりました。

どんなお話をされているのか気になりますよね。簡単に紹介しますと、第1回・ニュートンの神様の覗き穴、第2回・大次元転移と天国システム、第3回・相対性理論からホログラフイ時間論、第4回・満足力・愛、素領域Ⅱ泡・神Ⅱ完全調和、

第5回・自由意志問題、第6回・観測問題 とか難しそうですが、神の存在について量子物理学の世界から面白い例を挙げてホントに分かりやすく、ときどき脱線されて近況など交えながら語っていただけです。そんなことで東京の白金在住の先生からマスコミには出ない国際情勢や金融・軍事の世界の情報に触れる期待もあるわけです。

保江先生自身の周りでは大次元転移がいろいろ起こっていますが、それとは別に「天国システム」の展開が始まったのは、ハリー山科さんの全国発信する大イベントが生まれたことです。

東京方面で大活躍されているハリーさんは瑠璃さんのセオリツヒメの絵を「皆神山の謎」という映像で紹介してくださり、親しいお付き合いが始まりました。シンガーソングライターで作詞作曲もされ、高度な技術を持った映像作家でもあり、天城流湯治法と膜宇宙療法の整体の施術家でもあり、チャネラーのように神の啓示を受けて活動される多才な霊能者のような方でもあります。

神々からの啓示を受けイワクラの存在を通して遥かな縄文時代には現代を凌ぐ文明があったことに気づかれ、一万年もの間戦争のない暮らしを続けた縄文古代文明の中で、人々はどのような生き方をしていたのか、UFO問題、宇宙人と人類の関わり、そして神様とはなんなのかを追求されながら、超古代文明の聖地といわれる皆神山のピラミッドを探索、それらすべてを

俯瞰するようなユーチューブの映像番組を数多く作成して、good-weather-studioで全国に配信されています。そんなスゴイ影響力を持った方が、プロ仕様の音響機器や映像器械を3台も持ち込んで、専属技師を連れて、水木ノアさんと一緒に来られるのです。

第1回めはオペラ歌手の柏田ほづみさんが来られました。30才まで声が出なかつたのに、手術で奇跡的な発声ができるようになり、日本の神話からのアワ歌の新しい解釈での歌曲を唄って人気の方なのです。

第2回はアメリカで尺八のお弟子さんを沢山持つて指導され、奏者としても活躍する古賀将之さんとUFOコンタクトイで撮影家の武良信行さんの異色のコンビのイベント。

第3回は「イワクラ・バトルロワイヤル」と題して7月9日(日)に「ギザの大ピラミッド、ナスカの地上絵より精緻、縄文の壮大なる巨石モニュメント・地球最古の先駆け文明・イワクラ学初級」の著者である平津豊さん・イワクラ学会の武部正俊さん・瀬織津姫言霊リメンバリング」の著者の大江幸久さんなどそうそうたる古代史研究者たちとハリー山科の4人で、縄文時代からの日本文明の原点であるイワクラの歴史的価値についての話しで盛り上がりました。

第4回は「世界文明の起源は日本」という本を書かれた上森三郎さんで、世界の平和と宗教や人種を超えた民族の大調和のために行動さ

れる中で、兵庫県神戸町近辺にイエスやマリアの墓を発見し、そこは多くの聖人が訪れていた聖地であったと言われます。この上森史観と詳細は違いますが、竹内文書で書かれている事を裏付けるような発見をされているのです。

最近の考古学的発見で、日本は何万年もの歴史がすべて温存されているという特別な国として、最古の歴史を持った国であることが明らかになって来ています。

若狭の三方五湖の一つ「水月湖」は過去7万年の時を刻む堆積物「年縞」があり、世界の地質学者の巡礼地になっており、7万年もの間、いかなる天候や地質学的異変が起ころなかった平安な場所は世界中で日本だけしかないというのである。それゆえに

3万年前 加工した石器(磨製石器)

1万6500年前 世界最古・無文土器、

1万3000年前 人の形の土偶、

1万2500年前 漆が栽培され使われたという事実が証明され、世界中でもっとも進化した道具を使って生活を営んでいたことになる。それにより縄文人は戦いのない平和な社会で高度な文明を営んでいた事が明かされたのです。

竹内文書に書かれている「日本へ天浮舟」で神々の降臨し、黄人、赤人、青人、黒人、白人が生じ日本の天皇が世界を統治した。日本以外の世界各地の上古代以来の文明が壊滅した時に、来日して皇祖皇太神宮で学ぶ以外に方法が無くなった。モーゼ、キリスト、釈迦、以外にも伏羲や孔子、孟子、マホメットまで来日して研鑽し

た」の内容を裏付けるように、上森三郎さんは後期の縄文時代の日本は世界に光を放っていた聖地だったので、世界から聖人が訪れてきたと云われるのです。

こうした事は数年前までは僕も信じてなかったのですが、今やネット社会の発達で個人でいくらでも発信されるようになり、竹内文書のことを発信する映像だけでも随分多くなりました。ホツマツタエの研究も進んで、古事記以前の歴史が書きかえられています。神々がより人間臭い文化を持っている存在になって来て、六甲山周辺にあるセオリツヒメの遺跡が全国的に有名になり、訪れる人が増えています。サラ・シャンティの瑠璃さんのセオリツヒメの絵も貢献しています。もう日本の歴史は学校で教える意味がなくなり、学科も消滅するかもしれませぬ。

おかげ様でサラ・シャンティの一番の研究課題であるカタカムナへの注目度も上がってきていますが、嬉しい事に宮古島や石垣島で吉野先生のカタカムナ講座が人気だったりするのですから、やはりムー大陸時代のDNAが残っているのでしょう。沖縄のユタさんのチャネリングでカタカムナのごことが伝えられたりするのも、「先祖様の魂の声を聞かされているのだと思います。」

神代文字が30種以上と種類が多く、どれもすべて48音あるということ、それは縄文人が共通の言語を使っていたという証であり、縄文時代から各地に多くの豪族が存在しており、大和言葉で違った文字を使っていたことの証になり

ます。それが大和言葉という言葉の共通の文化を持っていて、万葉集のような和歌を詠むような教養のある人たちがいたり、飛鳥時代に突然聖徳太子のような天才が現れて、法隆寺のような建築が建てられたのも、長い縄文文明があったからこそでしょう。だから漢字が入って来ても上手に取り入れて使いこなしていた。それだから、ひらがな文学が自然に生まれるのも時間の問題だったのではないのでしょうか。

古墳が強制労働によって作られたと教えられました。これは西洋的な歴史観から来ています。本当は各地域の豪族が灌漑システムをで凸凹の土地を平面にして畑を作るために土砂を集めて山盛りにした場所をお墓に利用して、その豪族の功績をたたえて古墳が生まれた」という説を僕は信じます。こんな謝った欧米型の歴史観を卒業するために大次元転移して天国システムの社会になると、魂の力が復活してテレパシーなどで情報を判断できるようになる。これまでの物質優先の時代から、江戸時代のように自然を大切にす縄文型社会の復活で、魂の力が甦る時代が到来するのです。

次に続くのは

① 大飯原発のおおい町出身、徳庄博美さんの麗しの国・若狭よりのお便り29

今回は複合発酵法の高嶋博士のセミナーの詳しいレポート

② 花と爆弾主宰の小橋がおるさんからはアイスランド訪問記

高嶋博士の複合発酵法的全貌①

徳庄 博美

今お盆の真最中です。娘や孫たちが帰っています。我が家ではお盆の夜に般若心経を唱えてご先祖を供養します。しかし我が家の心経読誦はシツチャカメツチャカです。小学生の孫たちは般若心経が大好きで自分たちも読誦の導師を勤めます。そして私が般若心経を唱えようと孫たちがラップののりで体を揺すって踊り出します。それにつられて娘や妻も踊り出します。こんな心経の唱え方どこかやっているとあるでしょうか？なんと騒がしく楽しい先祖供養になりました。しかし楽しいお盆になりご先祖たちも喜んでくれていたと思います。命のつながりを感じることが出来ました。

さて高嶋博士の複合発酵法ですがその全体像が見えてきました。6〜7月と東京で開発者の高嶋博士の5回の地球の起死回生「水と微生物による宇宙生命作用」と題する連続講演会が行われましたので報告をさせていただきますと思います。

注意：この文は私が自分の理解を整理するために書いたものです。あくまで私の記憶とメモに基づく理解ですので講演内容から見ると間違いがあるかもしれませんが今後博士のチェックを受けていきたいと思っています。その点ご理解お願いします。文責は全て徳庄にあります。

まずデータや映像でこの複合発酵法の実績が

されました。これだけでも驚くべきものでした。京都の染色工場の廃液、PH11以上の超アルカリ性超猛毒のどうしようもない廃液がこの酵素液を入れるだけでPH8にまで下がっていました。廃液の処理費で倒産寸前だったこの会社が再生を果たしたと言っています。

また分解が絶対無理と言われていた塩素が主成分のダイオキシ、PCBもデータを見るとゼロに分解されていました。

さらに福島放射線量が強く帰宅困難、居住禁止地域に指定されていた浪江町での複合発酵法に基づく放射能除染処理実験の報告も行われました。13年9月25日から除染作業を開始し、3ヶ月後の結果です。セシウム134と137の合計が37000ベクレル/m²から2300ベクレルまで約16分の1にまで減少したのです。この実験の計測をした信州大学の技術者の方と実際に危険な現地で実験を進めたスタッフの方がその事実を報告してくれていました。実は私もこの話を聞き、現地を訪れ放射線を計測しその放射能が10分の1程度まで減少している結果に驚きました。ここから私の博士の複合発酵法とのつながりが生まれたのです。

次の報告は農業への応用でした。

屎尿処理場の複合発酵法による改善でした。屎尿処理上は悪臭がしなくなり、し尿の全てが透き通った太陽菌ゼロの真水のようになり、飲むこともできるようになっていたのです。私もこの屎尿処理施設を見学させてもらいカルチャーショックを受けました。さらにその処理水を農業に使うと

農作物を無肥料・無農薬で栽培し、安心で高品質のおいしいものを作ることが出来るようになるのです。しかも収量も増えるのです。リンゴ、米、ブドウ、イチゴ、キャベツ、ジャガイモ、しめじ……どれも素晴らしい結果報告がありました。農業がこれで変わると確信を持ちました。

私の方からも米作りと梅の栽培の結果報告をさせてもらいました。前にも書かせてもらいましたが昨年の米は食味計ではかると一番うまい米とされている魚沼産コシヒカリが84だったのたいして私たちが作った米は96でした。もう驚きでした。それでも昨年は雑草がすさまじく除草剤を2回やる必要がありました。しかし今年は完全無肥料、完全無農薬で栽培が出来ています。その結果今年ハ蜜が再び飛び始め20匹が見られたといえます。生態系が回復しているのを実感します。嬉しい限りです。

さらには富士山への取り組みの報告がありました。4〜50年前より富士山では森林限界が大きく下降してしましました。そして大沢崩れがおきました。その様子を見ていた博士は、その原因は富士市の製紙工場から排出される硫化水素が生み出す酸性雨が富士山の土壌微生物の死滅させていることが原因であると判断したそうです。山頂では土壌1CCあたり3〜8個ぐらいの微生物しかいなかったそうです。普通は数十億個の細菌が生息していると言います。

日本の霊峰である富士山が死にかかっていたの



です。そこで政府にも働きかけ、金を集めて富士山にへりで酵素物質を山頂まで運び散布したそうです。その結果当時から比べると植生限界が約700メートル上昇したそうです。土壤細菌数も回復してきたと言います。また富士山などで複合発酵法を活用した完全循環型バイオトイレの設置でくみ取りをする必要もなくなり自然界の汚染を防いでいることも報告されました。

そして今中国政府がこの高嶋技術に関心を持って大規模に導入しはじめています。複合発酵法の技術で尿処理場の悪臭で悩んでいた都市から悪臭が消え、その処理水で農作物が豊かに実り始めています。皆さんから大変喜ばれているそうです。また重金属などの汚染水の処理でもこの技術の活用が始まっています。博士の技術は驚きをもって迎えられ、北京大、清華大にも招かれ、今や中国政府から超VIPの扱いを受けているようです。

又砂漠の緑化プロジェクトも始まっています。砂漠は水を蓄えられないから砂漠になるのだが、その原因は土壤細菌の死滅と説明します。実は土壤細菌の中の放線菌がスポンジのように水を蓄える働きがあると云います。先の富士山でも砂漠化が進んでいたのです。富士山の経験から砂漠の緑化が可能であるというのが博士の見解です。さらに大きなビジョンがあつてゆくゆくはアフリカの緑化も構想していると言つてます。70億を超えた人類がこれから生きていくためには砂漠の緑化とそこの農業によってこそ初めて可能になるといっています。話を聞いているとそのように思えてきて心が高鳴ってきます。

もう一つ医療現場への活用の報告がありました。これも驚くべきものでした。酵素液にはまたミネラルや酸、ビタミン、酵素など生理活性物質が含まれています。この酵素液の発酵をさらに進めていくのです。するとやがてこれらも消失し純水になつていくということです。これがAATK溶液と呼ばれているものです。そしてこの溶液の注射によつて癌が消失するケースがでてくるのです。このAATK溶液を注射するとTセル細胞を活性化させ、そのことでナチュラルキラー(NK)細胞が爆発的に増殖すると言つてます。そしてがん細胞がこのNK細胞によつて死滅していくのだそうです。

特に大きな話題となつたのが中国医師会の会長が体の80%が癌に冒されていたのですが、この話を聞き注射を受けに日本の病院へやってきました。最初の渡日の時は自力で飛行機に乗り込むことも出来ずストレッチャーで運ばれていたそうです。治療の結果2回目の渡日の時には食事がとれるようになりまし。そして3回目まで癌が消えてしまつたと言つてます。これで中国全体が大騒ぎになつたと言います。特にこの会長が李克強首相の先輩だつたと言つてこのAATK溶液の研究に膨大な予算をつけることを計画がされたといっています。この話を聞いて日本でも慶応大学や筑波でこのAATK溶液の研究が始まつたということでした。

そこでスペクトル分析始め最先端の分析器で成分分析を始めたそうです。しかし驚いたことに何も検出されない。超純水であることがわかつたといっています。しかし理解できない両大学は博士が何

か隠しているのではないかと疑つたそうです。しかし博士は言います。何も無い無にこそ答でありそれによつて癌を消すことが出来るのだと。これを聞いて無にこそ力があるのだという意味だと理解しました。色則是空、空即是色のフレーズが思い浮かびました。講演会に参加した上智大学工学博士が驚いていました。

私は透過膜の研究をしているのですが、純水を作るのがいかに難しいか身にしみてわかつています。しかし博士の発酵によつて作られた純水は私たちの作っている透過膜濾過による純水とはレベルが違うようです。このAATK溶液を白内障の目に点眼したところ白内障が消えた、患部に噴霧したところヘルペスが消えたという体験を語る人もいました。私自身、鍼灸師をしています。針にこのAATK溶液で波動転写を行つてから治療を行うと治療効果が大きく高まるのを経験しています。

高嶋博士の複合発酵法の全貌②

博士は環境微生物学博士ですが、それだけでなくどまらず科学、量子物理学、宇宙物理学、西洋医学、東洋医学、歴史、経済、政治、環境、宗教、哲学、音楽、武道など人類の英知のあらゆる分野に通じた知の巨人のように見えます。特に禅・仏教の実践が博士の世界観の屋台骨を作っています。そして博士にとつての到達点は以下のようなものであると感じました。

人類の生存の原則は「人間は自然の一部」である。これは日本の精神であれば自然即神、八百万の神の考えであり、神ながら(随神)の道である。

しかし人類はここから逸脱してしまった。かけがいのない自然を破壊しその結果地球の危機が生まれてきた。これはデカルト以後の相対的な二元論と対立に立脚する科学技術、経済、政治を初めとした全てのシステムによって生み出されてきたものである。今人類生存の原則が危機に瀕しているが科学者と政治家と企業人の文明代第一主義からなる無責任な進歩と発展の名の下に地球人類が犠牲になっているのである。相対的な二元論とそこから生まれる対立こそ、環境破壊、戦争、天変地異の原因であり、この二元論を終わらせなければ地球、人類の未来はない。この危機を回避し、地球環境と全ての生命を救うためには環境破壊から蘇生へ、エントロピー(汚染)からエロゾジーへ還る「蘇生回帰の科学」が必要である。

この蘇生回帰の科学が複合発酵法の技術である。しかしこの複合発酵法の技術はパスツールから始まる試験管での一つの細菌を研究する古典的なモノカルチャーの細菌学とは全く異なっている。複合発酵では今まで不可能とされてきた嫌気性菌と好気性菌の共存による微生物の高密度化がおこり複合発酵が始まる。そしてここに共存共生する理想的生態系が生まれる。この課程を進めるために発酵槽と発酵合成槽をリレーして発酵を極限まで進める。

そしてここに酵素タンパク質の高分子結合結晶が生まれクリスタル化が起こる。発酵が進むとその中の炭素は徐々に小さくなりC60からフラーレン構造を持つようになり、宇宙の情報とエネルギーを補足するようになる。こうして酵素は宇宙工

ネルギーと情報によって触媒作用を持つようになる。するとこの酵素は重金属、放射能などの有害物質を消し、また生命の活性化をもたらすようになる。エントロピーが減少し、エロゾジーが創造される。汚染物質が消え、環境を回復する。宇宙を構成する根源的なエネルギーを捉えることで、瀕死の地球を起死回生に導くのである。

いまこれを複合発酵として提案させてもらっている。この複合発酵法技術は実験を繰り返して答えを探し出す帰納法ではなく、直感に基づいて得た答えを技術化する演繹法によって開発してきた。実験は理論の正しさを確認するために行うものである。この直感はバツハやモーツァルトが曲想を天より受け取るのと同じメカニズムである。私たちはこの答えを受け取れる感受性を高めていく必要がある。しかしこの直感が単なる思い込みであってはならない。観測データによってその事実が証明されなくてはならない。今まで膨大なエビデンスを積み重ね、その真实性を証明してきた。複合発酵法が科学であるゆえんは確実な再現性があるからである。

現代文明は主客二元論と同時に物質保存の法則を根本原理にしてきた。しかしこの複合発酵法の技術は生み出された酵素が生物触媒として働き、(有害)物質が素粒子(宇宙)エネルギーに変化して消滅し、又逆に素粒子(宇宙)エネルギーが生命・物質を生み出すという技術である。これは近代科学の根本原理を超えた世界である。これは般若心経の色即是空、空即是色の正しさを目の前に見せてくれている。猛毒の汚染物質、PCBやダイオキシン、放射能が消えるのは色即是空である。

また植物の毛根の先端が成長点として成長しているのも、酵素液によって農作物が無肥料でもしっかりと成長していくのは素粒子(宇宙)エネルギーが物質に転換されていく空即是色を見せてくれている。現代物理学では物質を転換させるには、加速器を使って高速で素粒子を衝突させたり、あるいは核反応によってしか物質転換は出来ないとしている。しかしフランスのケルブラン(Kelbran)の生体原子転換の発見以来私にいたるまでこの生体内、常温原子転換の事実気づいてきた研究者の系譜がある。

実はこのような原子転換、あるいは物質の消失がおこるのはこの世界は3次元世界だけでなく、5次元〜11次元の高次元世界があるからである。この世界は相対を超えた絶対の世界である。シャカやイエスの説いた世界、ユダヤ教の世界、中国の易经、タオイズムの世界、日本神道の神随(かんながら)の世界でもある。白隠も空海も法然も日蓮も説いた世界である。全て相対を超えた絶対の世界をそれぞれの言葉で語っている。空であり何も無いが全てがあるという世界である。無一物中無尽蔵の世界である。これが真理なのだ。

白隠は「富士(不二)山頂に隻手(せきしゆ)の音声を聞け」という公案をつくった。この公案の世界である。あるもないもない世界。相対を超えた絶対の世界。ゼロと無限(インフィニティ)、生と死、敵と味方、地獄と天国が同時に存在してそれを超えた世界である。ここに還っていくことがこれからの時代である。ここに還ると泥が蓮の花に変わる、毒が宝に変わる、最大の敵が味方になる、地獄が天国に変わる。白隠は南無地獄大菩薩と

大書した。ジョンレノンには白隠に傾倒しイマジンで天国も地獄もない、両方を超えた絶対平和の世界を歌いあげた。ここに平和な共存共栄の世界が現れる。

複合発酵法はこの世界を酵素を使って見せている。生物情報触媒により、環境の蘇生が行われる。富士山では硫化水素がエネルギーに転換され植生限界が900メートル上昇した。細菌数が復活した。福島放射能がエネルギーに転換され、複合発酵法によって除染された土は鉄棒を押すすつといくらでも入っていく柔らかく豊かな土に変わる。地球の蘇生回帰が始まる。毒が宝になったのだ。

これを科学の用語で説明すると次のようになる。この高次元世界に触れることで物質とエネルギーの転換が起きる。物質がエネルギーに代わり、エネルギーが物質に変わる。日常の空間の中にもブラックホールとビッグバンが同時に存在している。言い換えると物質の死と生が同時に起こっている。この高次元世界はダークマター、ダークエネルギーの世界であり、我々の目には見えない世界である。この宇宙エネルギーは重力波・量子波とも見ることが出来る。そしてこの重力波は意思を持っている。(これを私たちは神、仏と呼んできた。)

複合発酵法で作られた酵素や酸など生理活性物質は炭素をもっている。この炭素はほとんどスケールが小さくなり、C60のナノレベルになる。このマイクロレベルになるとこの炭素は正多面体のフラーレン構造を持つようになる。するとこのフラーレン構造が重力波をつかまえるようになる。そして

普通では信じられない蘇生回帰の様々な現象が見られるようになる。ハーバード大学フラー研究所の数学の研究者も講演に参加して、この説明に同意の面持ちであった。

このように高嶋技術はデカルト以来の二元論の近代科学技術を超え、シャカやイエスなど人類の教師たちが語った真理と重なっていると思います。私はこの高嶋技術は地球と人類を救う全く新しい技術の登場だと確信しています。本当に人類史上画期的なブレークスルーをもたらす科学であり、技術です。人類への最高の贈り物です。高嶋技術の登場に感謝以外にありません。

しかしこのことが逆に今の科学の権威には受け入れられません。博士は複合発酵法技術により放射能が消えたということを政府に伝え、そして東大の学者と意見交換をしたそうです。しかしデータは理解する、しかし核反応でもないのに、物質・放射能が消えると言うことは科学の根本原理に反し受け入れることが出来ない」と言うことだったそうです。そして複合発酵法技術による放射能除染の道が閉ざされたと言います。

しかし台湾、韓国の科学技術庁はデータは間違いないから放射能が消えたという証明書を発行しています。このような経過もあって博士の二元論科学の頂点に立つ東大への批判には厳しいものがあります。講演にも何人もの東大出身者が参加していました。一部の変わり者を除くという条件で東大をクソミソに批判していました。これはスターデーとリメンバーに基づいた現在の学校教育の

結果である。教育は親孝行をベースにイマジネーションとクリエイティブを育む教育に作り替えていかなければならない、と。中学の教師を長いこと続けていた私には耳の痛い話でした。

アイスランドで見つけたもの

小橋 がある

北大西洋の小さな島国、アイスランド共和国をご存じですか？人口30万人ほどの氷河と火山の国ですが、2008年のリーマン・ショックによる金融崩壊の危機を乗り越え、2016年には1人あたりの所得世界7位と経済を立て直した国。また、男女平等ランキング世界1位、平和な国世界1位、幸福度世界3位、そして国内電力需要のほぼすべてを水力と地熱でまかなうという、まるで社会的「おとぎの国」のようなアイスランド。いったいどのような人たちが創り上げたのか？



ずっと気になっていた国、アイスランドを3月に訪問し、国会議員、市民政党の支持者、若者、ごく普通の人々と会話を交わし、その答を探してきました。10日間という短い滞在でしたが、その答の輪郭はぼんやりと見えたような気がします。それは、国民ひとりひとりに根付く民主主義、もつとシンブルに言えば、私も大切、あなたも大切。私もあなたも同じアイスランドに暮らす仲間」という意識です。

日本ではほとんど報道されませんでした。2008年の金融崩壊後、アイスランドの国民は国会議事堂を取り囲み、国民投票を求めていました。その訴えは、「部の銀行家たちが作った35億ユーロの負債を、なぜ国民が肩代わりしなければならぬのか？銀行など潰してしまえばいい。」



当時、多くの銀行が巨額の損失を出し、銀行がつぶれないように政府が税金で救済するという事態が、アメリカを始めほとんどすべての関係各国で進みましたが、アイスランドの国民は、そのような政策にNOを突きつけ、借金の肩代わりを拒否し、多くの国では借金返済のために犠牲にされた社会福祉を守りました。それを可能にしたのは、連日デモで訴え続けることによって、首相の辞任、国民投票の実施へと政治を動かし、一部の富裕層や権力者ではなく自分たちの暮らしを守ろうとする国民の粘り強い活動でした。

「もう、政治を人任せにはしない！」と強く思った人たちは新しい政党も作りました。その名も海賊党(Pirate Party)で、権力を一握りの権力者から国民に取り戻すために2012年に結党され、2017年現在63人の国会議員定数の内10人が海賊党の議員という躍進ぶりです。私は海賊党本部を訪れ、党の創設者のひとりである国会議員のビルギッタ・ヨンスドット

ルさんを始め、党役員や党員、支持者の皆さんと話しをする機会を持つことができました。

海賊党の躍進がどれほど輝かしく思えるか、また日本で市民が新しい政党を作ることがどれほど困難であるかを語る私に、



「市民政を作るには、まずタウンミーティングだよ。国中の街を訪れて会合を開くんだ。」新しいアイデアを聞いてくれと頼めば、人々は一応聞きには来てくれるからね。良いアイデアだと思えば、応援してくれるよ。「みんな協力すれば、克服できない問題はないはずだよ。そのためには問題をしっかりと把握して、協力してもらえるアイデアを出さなくては。」私はその言葉を聞きながら、アイスランドの人たちは本当にお互いを信頼しているのだなと思いました。あなたが真剣に話したら、人は聞いてくれる。話し合えば、問題の解決のために一緒に動くことができる。「こうしてアイスランドは国民のための国であり続けているのだと強く感じました。」

人口30万人ほどの小さな国。そこには、お互いを信頼し、協力できる仲間同士として暮らす人々がいました。一部の権力者のためではなく、信頼し合う仲間同士、つまり国民の暮らしを守るためにアイスランドという国家を運営している人々。民主主義の基本を教えてもらったアイスランドの旅でした。

アイスランドの旅の詳細は、ブログでもご覧いただけます。 Words for Peace

「アイスランドで見つけたもの」

<http://flowersandbombs.blogspot.jp/2017/07/>

小橋かある(大学英語講師「花と爆弾」もう、戦争の暴力はやめようよ」(主宰)

写真…海賊党本部でビルギッタさんと

アイスランド国会議事堂

首都レイキャビク

続いては

- ① 伊勢に移られた元岡本の愛農人のオーナー吉田さんからの伊勢だより⑭
- ② 7月9日に行われた「イワクラバトルロワイヤル」に参加した千葉裕樹さんと池上敏子さんからの報告
- ③ 6月11日の魔法のランプのゲスト、尺八の古賀将之さんのことを市位ひろさんが書いてくださいました。
- ④ そして、5月28日のゲスト、柏田ほづみさんのことを佐々木美保子さんが書いてくださいました。

伊勢からの便り No.14

吉田 博明

7月上旬、伊勢市から車で40分、宮川中流に面した中山間地・大紀町野原を訪れました。四季を通して、周囲の山々の移りや野鳥の声に耳を傾け、彼岸花などを目にしながら横浜で

過ごした子供時代の田園風景を思い出させてくれるところです。

のどかな里山集落では、毎週土曜日、住民主催のコミュニティサロンが、廃校になった校舎で開かれています。住民だけでなく、地域以外の人たちも参加して、ジビエ料理やお茶を共にしながら、話がはずみ、木工品などの手作り体験や朝市などでにぎわっています。



野原は、義務教育・地方自治の父として知られた大瀬東作の出身地です。今回、大瀬東作記念館(生家)で開催された絵本作家・東出明美さんと住民との交流会に参加しました。伊勢市河崎出身の東出明美さんは、これまで伊勢平野に伝わる実話をもとに「お地藏さんの背中」、「いのちの灯明」などの絵本を自費出版してきました。大瀬東作の伝記絵本「知られざる三重の偉人」が近々出版されます。東作の交友関係やエピソードなどの取材を通して得た話をうかがいました。

大瀬東作は、田畑は1年の計、山林は10年の計、教育は100年の計にあり」と提唱、教育を最優先課題として取り組み、全国町村会(当時の自治体数12,000)に働きかけ、結集し、義務教育費国庫負担(無償化)を実現させました。東出さんの話を聞きながら、野原住民の間には、大瀬東作の業績をたたえ住民の総意でまとめられた「東作3原則」1. 先を読む 2. 人様の

役に立つ 3. 外に出かけ交流し学ぶ」の精神が脈々と息づいていることを感じました。

2014年、高等学校の授業料無償化が実施されました。日本では、1940年に義務教育費の完全無償化が実施されて以来、実に74年ぶりの快挙でした。教育は親の貧富の差に左右されることなく、社会全体の責任として、すべての人が機会均等に享受されるべきである」と、世界人権宣言「国際人権規約に明記されています。日本が批准したのが2012年だったので、世界的潮流からは遅きに失した感はぬぐえませんが、今後、この流れを受けて、残された大学(短大を含む)・幼児教育費の無償化の流れに拍車がかかってくるはずですよ。ちなみに、北欧のスウェーデンでは、すでに小・中・高・大学までの授業料は無償化されています。

2017年1月、スイスで、各国首脳・企業トップ・学識経験者が集い、毎年恒例となっている世界経済フォーラム総会(ダボス会議)が開催されました。期間中、NHKは河野憲治報道記者の司会で、会議の出席者:

1. デイビッド・B・エイガス氏(南カリフォルニア大学医学部教授スティーブ・ジヨブズ氏の主治医を務め、最先端の医療技術に精通)
2. リンダ・グラットン氏(ロンドン・ビジネススクール教授)話題となった「ライフ・シフト」100年時代の人生戦略の著者
3. 佐藤康弘氏(みずほフィナンシャルグループ社長)従業員の健康づくりに取り組み、

国への健康ポイント制度の政策提言者
4. ウィリアム・フランシス・モルノー氏(カナダ財務相)年金制度改革に取り組みを招き、どう生きる「人生100時代」をテーマに、パネルディスカッションを開催、後日、Zエクスプレスシャルとして、放映しました。これからの生き方のヒントとなる示唆に富んだディスカッションで、以下、私なりに要旨をまとめてみました。

① 人生100年時代になると、出生後20年間教育を受け、40年間働き、60歳前後で定年を迎えた後、20年間老後を過ごすという、人生80年時代での3ステージ型人生パターンは機能しなくなる。代わって、働く期間は40年間から60年間へと20年間延長される。延長された働く期間は、インターネット・AI(人工知能)・ロボット・自動運転などの技術革新で、職務内容が激変し、同じ仕事を続けることは困難になる。このため、十数年単位で仕事・再教育を繰り返すマルチステージ型の人生パターンが求められてくる。

- ② 個人にとって、働く期間には、
- A 生産を高めるスキルや知識(生産性資産)
 - B 幸福感の源泉となる健康・仲間・人脈・愛(活力資産)
 - C 学びをとおしての自己認識・自己改革(変身資産)などの無形資産を蓄積・更新するため、継続した学習が求められる。

③ 政府は、個人の再教育支援のため、長期的休暇や起業の手助けをする制度を充実させ、働き方改革を積極的に推進すべきである。

④ 健康は、お金のように貯金や税金を通して社会に再配分できない。人間は目先のことに意識が集中して、長期的視点からの人生展望を描くことは苦手である。このため、若い時期からバーチャルリアリティー(仮想現実)などでの学習を通して、食事・運動などに留意させ、生活習慣病の予防を心がけさせるべきである。

⑤ 日本では、国・自治体・企業・大学など産・官・学が連携して、ウェアラブル端末で個人の健康データを収集、得られた知見(ビッグデータ)を再び個人へフィードバックすることで健康状態を維持・向上させた人には、国から商品券が贈られる「健康ポイント制度」の導入実験が始まっている。メリットとして、個人の健康状態の向上・医療費の抑制・地域の活性化での効果が認められつつある。

⑥ 寿命は、お金のようには貯金することができない。イギリスでは、裕福な人々は貧しい人より寿命が12年長いと報告されている。これには政策を通して、貧富の格差是正に取り組むべきである。

⑦ アメリカでは、企業収益の17%(日本3%)を従業員の健康管理費に充当している。企業トップはCHO(Chief Health Officer)を

兼務して、従業員の健康や活力増進に努めている。

厚生労働省は、日本人の平均寿命は、この50年間で20歳延び、現在、男女平均83.9歳(男性80.7歳、女性87歳)と、男性は4年連続、女性は3年連続過去最高記録(2015年)を更新したと発表しました。世界保健機関(WHO)から、加盟196か国中、日本は最先端の長寿国として認められています。

現在、日本のセンテナリアン(寿命百歳以上の人は61000人で、2050年には60570万人に達すると予想されています。しかも、専門家は2007年に出生した人々の平均寿命は107歳(先進国104歳)に達し、誕生した人の50%以上がセンテナリアンの仲間入りをすると言っています。

逆に出生率の低下から、2050年には、生産年齢(15歳〜64歳)人口は現状の7700万人から5000万人へと30%減少すると予想されています。生産年齢者の人口減少は深刻で、社会保障費国庫負担額は、現状110兆円から2050年には150兆円へとふくれあがると見込まれています。しかも、現在子供の6人に1人(13.9%)が貧困状態に陥っている状態から、さらに拡大すると予想されています。

250万年前、人類の祖先は、ゴリラ・チンパンジー・ボノボなどの霊長類から離れ、アフリカの密林から平原へ進出しました。そして、直立

二足歩行を始め、両手を自由に使えるようになり、脳の容量を増大させました。「万年前には、石器や火を使い、言葉でコミュニケーションをとりながら、集団で狩猟採取生活を送るようになりました。さらに、一万年前からは農業を始めたことで、食糧の安定確保ができるようになり、定住生活を始めました。

その後、科学技術などのテクノロジーを飛躍的に発展させ、産業・情報・医療分野でのイノベーションを積み上げながら、現代の豊かな生活を手にしてきました。

しかし、歴史を振り返ると、経済の成長・拡大は国家や企業など、組織への富や権力の集中には貢献したものの、個人にとっては、モノを生産する機械や設備の家畜化を強いられ、長時間労働と貧富の格差拡大の中で、必ずしも幸せには結びついてきませんでした。

こうした社会不安は、地球温暖化を反映した異常気象、地震などの大規模災害の常態化とともに、資本主義・グローバリゼーションの行き詰まりまで懸念されはじめました。歴史は人によって築かれ、文明の興亡が人によって左右されてきたことを物語っています。過去が見えるから、未来が見通せるように、時代の転換期を迎えた現在、これから希望の持てる幸せな社会を築けるか、絶滅への道を突き進んでしまうかは、ひとえに、一人ひとりの叡智にかかっているのではないのでしょうか。

尾崎行雄は、伊勢・鳥羽・志摩市を選挙基盤

に、63年間衆議院議員を務め、民主主義と世界平和実現に心血を注ぎ、「憲政の神様」と称えられた偉人です。

過去は、人生の予備であり、本舞台は常に未来にあり。」
とは、尾崎行雄の残した遺訓です。

伊勢地域には、蓄積された「食」農林漁業「商工」などの産業や景観・歴史・文化・伝統など、有形無形の資産が足元に眠っています。多くの耕作放棄地、空き家、廃校などを見かけるたびに、最先端のテクノロジーを活用し、時代に呼応した多世代・多様な人々が共生する、ゲストハウス、シェアハウス、サテライト・オフィス、体験型カルチャースクールなどのスモールビジネス起業のチャンスに恵まれた所だと感じています。地域に密着した「隅を照らす」スモールビジネスの起業とそのネットワーク作り次第では、暮らしやすい「エココミュニティ・タウン」構築への道が拓けている所といえるでしょう。

イワクラ・バトルロワイヤル

千葉 裕樹

去る7月9日、人類史上初めての?ガチンコ・イワクラ・バトルロワイヤルが開催されました。平津さん、大江さん、武部さん、ハリーさん、そしてレフェリーの清水さんと名だたる方々が一堂に会して、多種多様な立場からイワクラについての想いをぶつけ合う場は、かつてなかった試みで、その白熱した場に居合わせることがで

きたことは幸いでした。
また、参加者としても上森三郎さんや吉野信子さんといった有名人が集っており、さながらこの世界の有名人の同窓会のような感覚も受けました。



話の内容は、立場とイワクラへの認識の違いによって様々ではありましたが、共通点としては、全員がイワクラに魅せられ、それによってこの場に居合わせているということ。イワクラとはこうである」という一般解はないのかもしれないが、間違いなくいえることは人類がその長い歴史の中で、磐に何かを感じ取り、それに惹きつけられ生きてきたということ。そういった先祖たちの信仰、つながりが連続と続いてきてこのイワクラ・バトルロワイヤルという場があるということ。そう思うと、この場は歴史的にも非常に意義深い場であるとも感じました。

どの演者の方の話も非常に興味深いものでしたが、個人的に印象に残ったのは今回初めて話を聞かせていただいた、武部さんの話。イワクラとは自分を呼んでくれるもの「イワクラと向き合うときは、すべてを忘れてイワクラそのものと向き合う」といったようなお話が非常に印象に残っています。その姿勢は、かつて太古の人々がイワクラと向き合う姿勢と似ているのではないか?という風に直感的に思いました。自分自身も日本全国各地の神社仏閣や山の中をよく放浪しますが、確かに多くの神社や山岳

に、イワクラ(のようなもの)が祀られていることを目にします。先日も福井県のある山村の山奥に行った際、その地域の人たちにしか知られていない神社があり、そこに「ご神体として祀られているのがイワクラでした。その神社を地域の人々が共同で守ることで地域の結束が維持されている。イワクラというものは、ある意味では人と人、先祖と子孫を繋ぐ役割も果たしているように感じました。

今回のこのイワクラ・バトルロワイヤルの参加を通じて、また新たなイワクラに出会うのが、楽しみに変わったのは間違いのないと思います。

イワクラ・バトルロワイヤル にまつわるエトセトラ

池上敏子

私は、サラシャンテイでカタカムナを学んでいます。イワクラ・バトルロワイヤルに行きたくてしようがないのに、直前まで気持ちに蓋をして過ごしていました。カタカムナの一連のイワクラに関する御神事にはあまり縁がなく、六甲比命神社にもお参りできてないことがひっかかっていたからです。でも、吉野信子後援会の研究部に入ったご縁で、当日、吉野先生もおみえになることを知り、行きたい気持ちが押さえられなくなり、とにかく、「行こう」と、すっとなで行きました。



この日は ハリー山科さん、平津豊さん、武部正俊さん、大江幸久さんという、六甲山やイワクラで検索していたらどどりついてしまう凄腕の方々が意見をかわすわけです。4人いっぺんになんてことは滅多にあることではありません。とにかく、楽しんで聞こうという気持ちで、初めての試みですが、気になる言葉は、カタカムナの数霊を計算しながら、お話を聞いてみました。

イワクラ 54、イワクラバトルロワイヤル 114
……という感じです。

お話はそれぞれのイワクラとの出会いを含めた研究発表から始まりました。

イワクラには礫岩が多い。そして、礫岩は実は、古代のコンクリートだ。(ハリー山科)

伊勢の内宮のイワクラは、地球の回転軸だと思ふ(武部正俊)

岩神社(ゆるぎ岩)は、古代人の高度な石の技術を子孫に伝授する場所である(平津豊)

神社のもとのもともというのはいワクラであり、いちばん大事な依りしろとなるのはイワクラである。(大江幸久)

と、それぞれの、イワクラについて、真実を伝えなければ……という熱い想いがピンピン伝わってきました。

バトルトークを通して、理論派の平津さんが大江さんの神界の存在の証拠について、かなり追究がありました。最後、平津さんがイワクラに行ったら武部さんと同じように御神体にお祈りされているとおっしゃったので、私にとつては、神界の存在について、凄い説得力のあるもの

なりました。

後日、6年ぶりに西宮の廣田神社に無性に行きたくなり、参拝してきました。

イワクラ・バトルロワイヤルで購入した平津豊さんの『イワクラ学 初級編』ともはつよし社)を読んでいたら、廣田神社の御祭神が目にとまり数霊を見てみました。

ツキサカキイツノミタマアマサカルムカツヒメ441、イワクラバトルロワイヤル114
二つ合わせて555。

イワクラ・バトルロワイヤルに、おみえになっていったんだと感じ、ホッコリしました。イワクラの大切さ、しかと伝わりました。素晴らしいイベントでした。感謝。

非常識から生まれた古賀サウンド

市位ひろ子

古賀将之さんは米国バークレイにお住まいで、尺八の学校を作られています。喜多朗さんとグラミー賞の候補にもなられ、「活躍されている尺八の演奏家です。

NYフィルでソロとして演奏した横山勝也さんの音が全然違うと思ひ、横山さんの弟子になりたかったがダメと言われ、30歳でアメリカに行かれました。アメリカでも苦勞、暗中模索の状態でした。ある時ある方が脊柱を触ってくれると音が変わったのをきっかけに、自分の身体を

勉強することから始められました。剣道でわき腹を閉めるというけど、どの筋を閉めてどの筋を使わないのかわからないので、トイレで血が出たり意識がなくなつて倒れたりしながらも、すべて試行錯誤からだを一つ一つ研究し、それを日記帳のように書いていったものが本になっています。

(ATLAS OF INSIGHT OF MUSIC VOL I and II)

100年前に見えないエネルギーをかき集めて電気を使ったニコラ・テスラーを知り、古賀さんもLEDのライトをいじり、フリーエネルギーで電気をつけられるようになりました。それは空間にあり、自分の意識でエネルギーがあると思えばあるので、壁の肺、壁の鼻腔というように壁に空間を作つてあげる。尺八を吹きながら壁の自分が吹く、すると音が変わる。尺八を吹くとは、体の中の見えないエネルギーを見えるエネルギーに、つまり耳で聞こえるように変えただけその効率が上手下手の技術になり、尺八という楽器は触媒でしかない。



このように身体を生理的(横隔膜、腹筋、息の仕方など)、物理的(共鳴の理論など)に突き詰め、身体のすべての筋肉、器官、体液、血液を拡張化し(風船化)しひとつにする。そして全てを外側(壁)に持っていく、体内が「無」になって充実する。そうするとそのできた割合に応じて

エネルギーが出入りする。このような方法で古賀さんは自分の音を掴み取られました。

しかしながら古賀さんの本を読んでも理解することはなかなか難しいです。古賀理論は独特で、まるで天才の言われていることを凡人が理解できないかのようです。たとえ難解であったとしても喉を通して息を吐くだけでなく、尺八を吹くための体中のしくみを自分で体験し、またフリーエネルギーを使用するというオリジナルティーは努力と発想の賜物以外にはありません。

常識からいうと非常識かもしれない。理論が変でも効果があるから私は実益をとると最後におっしゃられました。初めて聴いた古賀さんの尺八の音はまるで自分が宇宙空間にいるかを感じさせる深いびのびとした音でした。特に低音は木による共鳴で本当にやさしさに包まれたような音です。しかしながら大地のエネルギーを感じるような力強さを持ったスケールの大きな音でもありました。古賀さんが横山さんの音が全然違うと思われたのと同じように、わたしも古賀さんの音が他の演奏家の音と全然違うと感じました。

柏田ほづみさんの歌

佐々木美保子

やっと、ほづみさんに会えて、生歌聴けて、体がこんなに喜んでいきます。帰り道はルンルン。私もクジラがあんなに飛び上がって喜んでる気

持ちがわかりましたよ。ぜひぜひ、生歌をお聞きくださいませ！ほづみさん、有り難うございました。」

これは私が、その日嬉しくて、柏田ほづみさんの Facebook に投稿した文面です。

その日2017年5月28日、サラシャンティで行われた念願だった柏田ほづみさんのコンサートに、行くことが出来ました。



当日の朝迄は、行けるかどうかわからなかつたんです。なんだか身体がしんどくて、時間ギリギリまでどうしようかと迷ってました。でも、なぜか、ほづみさんの歌を聴いたら、げんきになるような気がしたんです。よし、行こう！(前日に、いきなり当日行っても大丈夫か？了承してもらっていたので)ゆっくり、ゆっくりと歩きました。電車内はありがたいことに、全て座席に座ることが出来ました。

ちよつと早めに、サラシャンティに着きました。まだ準備が出来ませんでした。清水の奥様が気遣って、涼しい場所に椅子を置いて下さいました。

あわの歌と瀬織津姫」というタイトルだったので、以前に購入していた瑠璃さんの、ホツマツタエカタカムナあわのうたのプリントTシャツを着て行つたんです。誰か着てくるかなと、思っていたのに、私だけだったのは、ちよつと残念。早めに行つたお陰で、一番前の席に座れました。

真ん前に、なまの柏田ほづみ姫がいらっしやいます。

まず、その日の朝に、「これから歌いなさいと、降りてきたという、テンポのよい 琉球パーションのあわの歌」から始まり、いきなり引き込まれました。トークを、交えながらほづみさんは次々に歌ってゆきます。

ベルディ作曲 神よ平和を与え給え「この曲は、ほづみさんにとっては深い縁のある御岩神社で、度々歌われている平和を願う曲 アルミノーレ管弦楽のためのアダージヨ アベマリア」とても美しい曲。この曲が歌いたく、他から歌詞を挿入したそうです。

- カタカムナ5首、6首
- カタカムナひふみのうた
- ヒフミヨイ マワリテメクル
- ムナヤコト アウノスヘシレ
- カタチサキ ソラニモロケセ
- ユエオオラ ハエツイネホン
- カタカムナ

カタカムナうたひを、歌いたくてほづみさん自ら曲をつけたそうです。これはカタカムナを愛する者にとっては素敵な贈り物でした。

ハツハ作曲 チエンバ口協奏曲6番 おくり物」この歌は私の大のお気に入りほづみさんのファンの田辺さんが作詞されたそうです。ホント素敵な詩です。

カッチーニのアヴェマリア」これはもう、私もア

ヴェマリアの中では一番好きです。

そして、最新のハリー山科作曲「Fノヲシテあわの歌」ハリーさんらしくともテンポの良い明るい曲で、懇親会でも、みんなで大合唱しました。勿論私はもう全部覚えていましたよ、最後は、クジラが歓喜して飛び上がるYOUTUBEの映像にのせて「ブッチーニ作曲 トウーランドットより 誰も寝てはならぬ」

もう、ここままで、私の身体はビンビンにエネルギーに満たされ、生まれ変わっていました。そして、感じました。ああー、治った。もう大丈夫だ。そして、私は来る時とは違って変わって、飛び跳ねるように帰路に着いたんです。

柏田ほづみさんのことを知ったのは、2年ほど前です。FBで、確か山川亜希子さんだったかしら、ほづみさんのクジラに向かって歌っているYOUTUBEをアップされていたのです。なんだろうって見て、びっくりしました。クジラが何度も何度も跳ね上がった、アピールしているのです。それで、ほづみさんのYOUTUBEを色々見ました。

FBもフォローするようになりました。バツハの贈りものを、朝起きると、何度も何度も流して聞きながら口ずさんで、ほづみさんが大阪でコンサートする時は、ぜひ行きたいとおもうようになっていました。1年ほど前にFBで、いいね、したらいきなり友達申請が来た時は、びっくりしました。それは嬉しかったですね。

だから、お会いした時、そのことをお話ししたら、

ぎゅーっとハグして下さいました。もう、本当にうれしかったわー

不思議だった事があります。ほづみさんが歌うとなぜ、小鳥たちが応え集まってくるのか？なぜ木々が応えて騒めくのか？なぜクジラが寄って来て、あんなに飛び上がるのか？小さい頃から声が出てくく、いじめられたのに、今やオペラ歌手、なぜ？

ほづみさんにお会いしてわかったんです。魂の根元から命がほとばしっている！色々な苦しい過程を経てやっと、自分は歌いたいんだって奥深く根元から湧き上がってくるものがあつたんだでしょう。歌う事の喜びが溢れている。それが、地球の振動となって私の、木々の、鳥たちの、魂に触れるんだって。

すると、なんと、最近知ったのですが、私が感じたことを、そのまま、ほづみさんは、雑誌至今已に書いておられました。

以下引用

私の声には「倍音」と言って実際に発声している音階よりも高い周波数の音がすくく含まれているので、私の歌声を聴くと、不思議と病気の方や植物状態のかたの症状が改善したりするんです。脳波研究の第一人者である志賀一雅先生が興味を持って調べて下さったところ、私が歌っている時には地球の周波数と言われるシューマン周波数(7.8ヘルツ)がとても長い時間起こって、それが人や生き物に対して癒しとして

伝達されるそうなんです。

音として感じてほしい。そう、おっしゃってましたね。留学中に、ヴァイオリンの音に心うたれたように、自分の声もそうでありたいと。

いま、ここ、前進しチャレンジし続ける柏田ほづみさん、世界に向けて地球上全てを癒して欲しいです。

教室めぐり は水曜夜の統合瞑想の講師、内丸オミさんと第2・4木曜午後のおんこchan体操の案内人、上野万弓さんからのクラス紹介です。

おんこchan体操

上野 万弓

2011年12月4日、ふとしたぎっかけでこの体操を体験することになりました。ちょうど、50歳半ばで筋力の衰えと体力の低下とを実感していた時でしたし、寝たままですることができる体操だと聞いていましたので、これなら、楽そうなので、気がして、試してみるか」と



ところがどっこい、実際にやってみると、心臓への負担こそ少ないものの、これがなかなかのものでした。思いがけない身体の部分にアプローチする上に内蔵にまで働きかける動きで「なんだこれは！」の連続でその結果。

もっともって探求してみました。

統合瞑想

内丸十オミ

それから、かなり熱心に(?)当時まだ、ご存命だった故足助照子先生と現会長の米沢典子先生の後を追いかけるようにあちこちの教室に参加させていただきました。

毎回、身体で実感できる何らかの発見があり、また初めは全くできなかった動きも、回を重ねるうちにいつのまにかできるようになり、ますます面白くなってきました。

人の体は、それぞれ違うということは、鍼灸師という職業上、理解していたつもりでしたが、色んな人がそれぞれに自分の身体の弱いところに向き合って、ゆっくりとではあります、改善していく姿を見せてもらえたことも、大いに励みになりました。

また、この体操で体得したことは、鍼灸で学んだ東洋医学・西洋医学の身体のこと、何ら矛盾するところもなく、かえって、そんなアプローチもあつたのかと新しい学びになっています。

そんなこんなで、この体操が好きすぎる状態が続いて今に至っています。そして、ついに、長いお付き合いでお世話になっているサラシヤンティさんで教室を持たせていただくことになりました。

意識して身体を動かすことによって、日々自分で自分の身体の調整ができるよう皆さんと一緒に深めていけたらなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

瞑想は心とからだを鎮め、5感を研ぎ澄ましながら、自分自身と向き合う時間を生み出します。

また、瞑想を通し、自分の在り方を学ぶことができます。例えば、自分自身と、家族や友人と、亡くなったご先祖様とつながっている」という実感が生まれやすくなります。

内なる自分とつながっている。家族や友人、地域の人々やご先祖さまとつながっている。

あらゆる生物とつながっている。地球の中心や宇宙とつながっている。…という実感。

からだが自らを癒そうとする力は、つながりを感じることで生まれると言います。このつながっている」という実感が心身を活性化させてくれます。

答えは外にあるのではなく、いつも自分自身の中にあります。自分自身の中にある答えを導き出し、洞察していくことで自己成長していくことが可能です。

統合瞑想とは、心とからだ、左脳と右脳といった個人の統合性と、環境や社会との統合性の2つを目指しています。

私の実家は病院ではありませんが、病気になる

った親戚の方が療養のために遠方から泊まりに来られることが頻繁にありました。なかには、様々な理由でお話ができない状態の方もいて、子どもの頃の私は、5感を使ってコミュニケーションをとっていました。大人になって看護師になったのをきっかけに、薬草、エッセンシャルオイル、マクロビオティックと、健康に関係する情報にはとても関心を示すようになりました。

当時は代替療法など勉強をしていたわけではありましたが、人間の持つ計り知れない能力や、自らのからだを治そうとするメカニズムに、興味を持つきっかけとなりました。

そんな私が3人目の子どもを産んだ直後、親族の事故死によるストレスや妊娠中毒症による高血圧で、自分の心とからだのバランスをとるのが難しくなりました。自分の心とからだなのに、自分の意志だけではうまく動いてくれませんでした。

朝起きると、子供たちの前では、笑顔でいたいで明るく頑張りますが、子ども達が寝静まると、身近にいた人が事故で亡くなった事実を受け止めることができず、落ち込んでしまうのです。また、子どもの身の回りのお世話をしたという気持ちはあっても、血圧が上がったなど感じると、すぐにベッドに横たわるような状態でした。近所に親戚や知り合いもなく、主人も出張が多かったので育児を休むわけにはいきません。私は、自分の心とからだを管理していく必要がありました。

困っていたある日、たまたま知り合った方が瞑想を教えてくれてアドバイス通り始めてみしました。瞑想を1日10分1週間続けたあたりから、頭がからっぽになり疲れが取れ、脈が安定していると感じました。1か月、さらに1か月…と瞑想を続けると、効果は確実に表れ始めました。



一時は、自分のこのころとからだをコントロールできないことに悩んだ私でしたが、瞑想を行うことで少しずつ自律神経のバランスがとれ、呼吸が落ち着き、それに伴いこのころが安定しはじめました。古い感情や思いこみ、行動の癖など自分に対する「気づき」も増えてきて、客観的に物事を考えるようになりました。

そして、瞑想を始めて数年経った頃、血圧は常に安定し事故死のことを思い出しても、激しい悲しみや苦しみといった感情が和らいで穏やかに毎日を過ごすことができるようになっていたのです。育児をする上で、穏やかでいられることは私にとって大変重要なことでした。たった10分「呼吸法」自宅でもできる」という気楽さが、第3子出産後で育児に追われる私でも瞑想を続けることができた大きな理由だと思えます。

健やかな毎日が過ごせるようになってから、瞑想を朝、夕20分ずつ続けていくうちに、このころとからだの静けさの中に智慧が生まれ、直観

によるひらめきが養われていきました。今でも瞑想中の私は常に自由であり、歓びを生み出すイメージ力や自分の中から生まれた直観によるひらめきに、いつもワクワクしているのです。

近年、マインドフルネス瞑想などメディアで瞑想を取り上げられる機会も増えました。呼吸法瞑想、音楽瞑想など、少しずつですが医療現場でも活用され始めています。特に呼吸器は循環器や消化器と異なり、意識してコントロールすることで無意識の域にアプローチでき、支配されている内臓をゆるませることができると、呼吸を取り入れた瞑想など重要視されています。

このように、老若男女だれでも簡単に行えるのが瞑想の良いところであり、必要としている人々に伝えていきたいと思っています。

ストーン・ヒーリング

古代より石たちは、私たちに高次元の気づきをもたらししてくれます。視えない世界からのメッセージを受け取り意識の変容を促します。感謝と共に宇宙のエネルギーを体感してください。1時間〜2時間のセッションになります。

引用文献 臨床瞑想法／著者天下大圓

編集後記

お盆休みで久しぶりにゆっくりしました。日常の忙しさからしばし開放されて、体が休まると、ゆとりができて心も豊かになるように思いました。5Fの玄關を出たところの階段のてっぺんから神社の大楠が見えます。その緑を猫と並んで眺めているとても幸せな気持ちになりました。



年に3回JRが発売する青春18切符で2回遠出をしました。1回は日本語教師をしていたころにお世話になった方が岐阜の従妹さんの近くの施設に移られたので、その方を訪ねて行きました。京都にはよく行くので、米原は新快速で京都から結構近く米原に行くと、岐阜はすぐそこなのです。新幹線でも行けますが、在来線のゆっくりした旅を楽しみました。その方と6時間、車イスで散歩に行ったり、お茶を飲んだりできました。

もう1回は親友と、丸亀駅前にある猪熊弦一郎美術館を訪れました。友人は乳ガンを再発していて治療中、鎮痛剤なども服用しています。一緒にいても何も気を使いませんでした。三ノ宮から乗換えが4回ありますが、エスカレーターやエレベーターも使いながら、結構楽しめました。瀬戸大橋からは美しい海と島々を楽しめました。友人は染色を教えてください、そのお仲間とこの後タイとニースに出かける予定だと言っていました。ニースにはマチスの美術館があるそうです。病気って何かなあ？と考えてしまいました。

清水 和子